

2次審査の評価基準(評価項目5~9)

評価項目	視点	配点		
5	基本構想・基本計画	基本条件の整理	大竹市全体や道の駅を整備する地域に関する現況把握ができる提案となっているか。	5
		道の駅等の整備に係る調査及び分析	道の駅の建設予定地及び周辺の現況についての調査や情報把握手法、分析方法や分析目的は明確で効果が期待できるものとなっているか。	5
		外部環境の調査及び分析	道の駅の整備・運営に影響を与えることが想定される外部環境について調査や情報把握手法、分析方法や分析目的は明確で効果が期待できるものとなっているか。	5
		基本方針の設定	小方地区のまちづくり基本構想の4本柱を踏まえるとともに、上記①~③等から導き出される大竹市の抱える課題等を分析し、スポーツ・体験型の道の駅が果たすべき役割や必要性を整理した上で、スポーツ・体験型の道の駅の整備コンセプトや基本目標を設定する考え方をしているか。	5
		専門的な視点での助言	基本構想・基本計画の実現性を高めるために必要な専門家からの助言を受けられる体制を構築し、必要に応じて助言を受け、構想・計画(案)に反映する提案となっているか。	10
		プレサウンディングの実施	本事業の市場性を確認するとともに、民間事業者のノウハウを活かした施設整備・運営につなげるため、民間事業者へのプレサウンディングを実施する内容となっているか。	10
		利用者等の合意形成	想定される利用者・関係者等の意見や要望を整理し、実現可能なものを取りまとめる手法が提案されているか。	10
		施設整備計画の検討	④~⑦等の業務を踏まえるとともに、道の駅における各機能(「休憩機能」「情報発信機能」「地域の連携機能」「防災機能」)に照らし、スポーツ・体験型の道の駅施設(「地域振興施設」「総合体育館」「駐車場」「トイレ」「休憩所」「その他施設」等)の整備計画を検討する内容となっているか。また市が情報提供する市民等から提案のあった施設・機能について、実現可能性について整理するものとなっているか。	10
		事業計画の検討	⑧で整理した施設計画を前提として、概算の整備費、維持管理費の整理、財源の調査、収益性や市の負担額の検討、市内経済への波及効果及び開業までのスケジュール等について、十分に検討・整理する提案となっているか。	10
6	民間活力導入可能性調査	民間活力導入事業手法の整理	スポーツ・体験型道の駅における民間活力導入事業手法について、各手法の特徴やメリット・デメリット等を整理する内容となっているか。	10
		事業手法の導入範囲の整理	民間活力導入事業の対象とする施設・機能及び業務範囲について検討する内容となっているか。	10
		事業スキームの構築	事業方式や事業形態、事業期間の検討を行う内容となっているか。	10
		市場調査の実施及び結果のとりまとめ	⑩~⑬等の検討結果をもとに、民間事業者の本事業に対する意見・要望及び参加意向を把握するための市場調査を行い、その結果について、整理・分析を行い、必要に応じて事業スキームの検討に反映する内容となっているか。	20
		Value For Moneyの算定	①概算事業費の精査・②市が自ら実施する従来方式の場合の事業費の算定・③民間活力導入方式の場合の事業費の算定を行った上で、Value For Moneyの算定を行う内容となっているか。	10
		課題等の整理及び総合評価	本事業を民間活力導入方式で実施する場合に想定される課題について抽出し、その対応策の検討を行う内容となっているか。また⑩~⑭等の結果を踏まえ、本事業への民間活力導入方式の導入の適性について、総合的に判断を行う内容となっているか。	10
		専門的な視点での助言	民間活力導入の実現性について、専門家からの助言を受けられる体制を構築し、必要に応じて助言を受けられる体制となっているか。	10
7	独自提案等	仕様書に記載された以上の独自の創意工夫した取組やその他の支援があるか。小方地区のまちづくり基本構想に掲げる理念や基本方針、取り組み等との連動性等が盛り込まれた提案となっているか。	30	
8	工程及び出来高見込み表	工程及び出来高見込み表となっているか。	10	
9	ヒアリング	プレゼン、応答能力、提案書類についての分かりやすさや説得力	10	